

学年だより



鯖江市中央中学校
第2学年
令和4年11月30日(水)

長いと思っていた2学期も、いよいよ最後の月となりました。2学期には、体育大会や文化祭、起業セミナーや普通救命講習等、新型コロナウイルスの影響下にも多くの行事が開催されました。その中で生徒たちは、実際に体験して初めて気がついたことがあったり、自分の将来について考えるきっかけをつかんだり、それまでの自分よりも成長する機会を数多く得たのではないかと思います。令和4年を終えるにあたり、今学期の自分を振り返り、生活面や学習面のまとめをしっかりと行ってから冬休みを迎えてほしいと思います。

普通救命講習

病気や事故などで心停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生などの応急手当を行う必要があります。いざというときのために、応急手当の知識と技術を身につけておくため、消防署の方に講習をしていただきました。



救普通救命講習会を受けて

1分間に100回から120回のペースで胸骨圧迫をするのが思った以上に大変でした。普段から胸骨圧迫やAEDの使用をする機会がないのでとても勉強になりました。

普通救命講習を受けて「落ち着いて行動する」ことが大切だと思いました。もし実際に倒れている人がいたら周りの人にも助けを求め、助けることを最優先にしたいです。

救命の行動に移すまでの時間がとても大事だと学びました。助けるまでの時間が早ければ早いほど救命率が上がることが分かりました。今回の講習を生かして実際に倒れている人がいたら助けたいです。

自分でも誰かの命を救うことができるということが分かりました。もし目の前に倒れている人がいたら、誰よりも先に駆け寄り、その人を助けたいと思いました。

AEDの使い方、使うまでの作業などがしっかりと身につきました。講習を受けて、やるべき作業は分かったけれど、一番大事なのはそこから行動に移すということだと分かりました。

講習で助けを呼ぶ役をしました。自分ではかなり大きい声を出したつもりでしたが、周りにいた半数の人にしか聞こえていませんでした。実際に助けるときがあったら、もっと大きな声を出したいです。

胸骨圧迫は、お手本を見ているのと実際にやってみると印象が全然違いました。思ったよりも力があるしリズムを取ることがすごく難しかったです。

今まで学校の中のどこにAEDがあるのかということや、中身を見たことがありませんでした。今後倒れている人やケガをしている人がいたら今日教えてもらったことを生かしたいです。

心臓マッサージが大切だと思いました。たった30秒行っただけで疲れてしまいました。この動作を20分行える消防隊の人たちがいかにすごいかということが分かりました。

周囲の人たちの行動によって生死が決まるということが分かりました。今日教えてもらったことは本当に大事なことばかりだと思いました。もし、倒れている人がいたら慌てずに習ったことを行いたいです。